

部局経営方針（平成 17 年度振返り報告シート）

部局名	水道局	部局長名	鮫 島 利 夫		
①部局の使命	① 清浄にして豊富低廉な水を供給し、公衆衛生の向上を図る ② 温泉を利用して市民福祉の増進を図る ③ 汚水処理により生活環境の改善と公共用水域の保全に資する ④ 都市の浸水を防止し市民生活の安寧を図る				
②経営資源	予算	予算現額 49.8 億円			
	構成 人員 (人)		本庁	支所	計
		職員	32	33	65
		嘱託員	3	4	7
	計	35	37	72	
③現状認識及び中期展望 (政策ビジョン)	水道施設 49 箇所、公衆浴場 7 箇所、下水道施設 12 箇所について、施設の状況や機能・運用の把握が十分なされていない。 施設の維持管理手法や運営の方針に統一性が見られず、市全体としての経営理念に欠けており必ずしも効率的経営になっていない。 施設を含めた事業を民間で経営又は運営できるものは民間化、委託化を推進し、市で行うものは更なる経営改善に努める。 市民公平の観点から料金等の見直しを行う。				
④今年度の部局目標	① 各施設の現況調査及び台帳整備を行い正確な情報を得る。 ② 維持管理手法の再検討と合理的・効率的手法の研究 ③ 経営の分析のための資料収集 ④ 中期事業計画（水道ビジョン）と財政計画の策定 ⑤ 効率的経営のために数値目標を設定して下水道加入率の向上に努める。 ⑥ 危機管理マニュアルの作成（上水道部門、下水道部門） ⑦ 水質管理の計画的実施と公表（平成 17 年度水質調査計画） ⑧ ホームページ、広報誌による情報公開 ⑨ 工事費縮減や安全管理のための研修を計画的に行う。				
⑤目標設定の理由	総合計画基本構想に基づいた管理経営の見直しを行う必要がある。 21 世紀のあるべき水道の姿“水道ビジョン”が示された。 危機管理体制の整備が喫緊の課題となっている。				
⑥目標達成に向けての 手段・方策	水道、下水道、温泉事業運営審議会を設置し、事業統合や民間委託、使用料金のあり方等について審議する。 お客様から見た便利で効率的な事務処理体制の研究を行う。 お客様相談窓口設置や出前講座で加入率の促進を図る。 危機管理対策として都市間協定の締結を検討する。				
⑦上半期の具体的な取組 の経過・実績	各施設毎に運転管理状況を把握するとともに、統一様式による台帳整備を行い、事業経営分析や事業計画・危機管理対策等の実施に向けて資料収集を行った。				
⑧下半期の取組の方向性、 目標達成に向けた課題や問題点、 見直し内容	施設台帳や収集資料から事業の経営方針、整備目標を策定し、課題毎の具体的な解決・改善の作業手順を決定する				

⑨下半期及び年間を
通して具体的な取組の
経過・実績

《実績》

- ・ 6 公衆浴場の指定管理：残り 2 は民営化で交渉継続
- ・ 緊急時支援体制の整備
- ・ 毎日点検の外注化
- ・ 浄化センター管理の複数年契約
- ・ 下水道料金の見直し案
- ・ 公共下水道加入促進の臨戸

《課題》

- ・ 浄水場の複数年契約
- ・ 支所機能の統合
- ・ 収納体制の整備，不能欠損処分の条例化
- ・ 水道ビジョンの作成と料金見直し

下水道加入促進

作成基準日：平成 18 年 3 月 31 日